

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成31年 3月 16日

公表:平成31年 3月 31日

事業所名:児童デイサービス・アニマートさのstudy

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	フローアを個別・集団・余暇活動と分けて活用した。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	法令通りの人員配置になっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		共用トイレのために、入居事業所との連絡・連携を図り改善案を検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		開所間もないために、評価結果は次年度の業務改善に生かしていきたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	宇都宮大の原田先生を講師に招き定期的に研修を実施した。	
適切な支援の提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	WISC-4を中心としたテストバッテリーを実施し児童の実態を基にサービス計画を実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	S-M社会生活能力検査等を活用し児童の状況の把握に努める。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	児童の実態に合わせてながらスタッフで協議し支援内容を考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	季節に合わせた行事等を取り入れたりアニマートタイムを設定したりして	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		平日、休日、長期休暇に応じ個別・集団を入れた課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	日々個別と集団を組み入れながら変化に富んだ活動を工夫している。	

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	療育開始前に支援内容と教材を確認し担当する児童については報・連・相を心掛けた。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	支援終了後に次回の支援に生かせるよう引継ぎをしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	個別の支援記録票の記入は担当者が確実にやっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		開所して1年未満なので次年度は組織的・計画的にプランを見直していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	0	全職員がガイドラインを熟読し改善が図れるように努めている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	担当者会議には該当児童を最も熟知している職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	学校の教頭先生を窓口し情報の共有及び連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				今後も小児科医の柳川先生・岡田先生の指示を仰ぎながら受け入れ体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				開所間もないために次年度は連携を図り円滑な情報の共有を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当者がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	宇大の原田先生・宇都宮サポートセンターとの連携を図っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				各機関との連携を図り・交流の機会が設定できるよう努めていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	毎回必ず保護者に児童の様子を口頭や使用した教材を通して伝えている。		

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0		今後も臨床発達心理士・カウンセラーが常駐しているので対応・支援していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	支援の内容と利用負担等についてはその都度説明をし確認印をいただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	事業所内相談を設け保護者の困り感に寄り添えるよう努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		次年度6月頃保護者会を実施する予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	早めに誠意をもって丁寧に対応したことが良かった。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		定期的なお便りについては検討しているところです。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報の取り扱いには全職員で共通理解を図り十分配慮している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	児童・保護者の困り感に寄り添い個に合ったコミュニケーションに努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		次年度は地域との交流を考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	7		マニュアルを作成し保護者に周知していただけるよう計画的に進めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	7		次年度は消防署に指導を仰ぎ避難訓練を実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	3		虐待防止に関する研修会には全職員が年一回は参加し適切な対応ができるよう努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4		食物アレルギーのある子どもについて排除すべき食物が分かるように一覧表を作成し職員間で必ず確認し合います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	7		職員のヒヤリハットに対する感覚を養う必要があるので、情報や事例から学んでいきます。